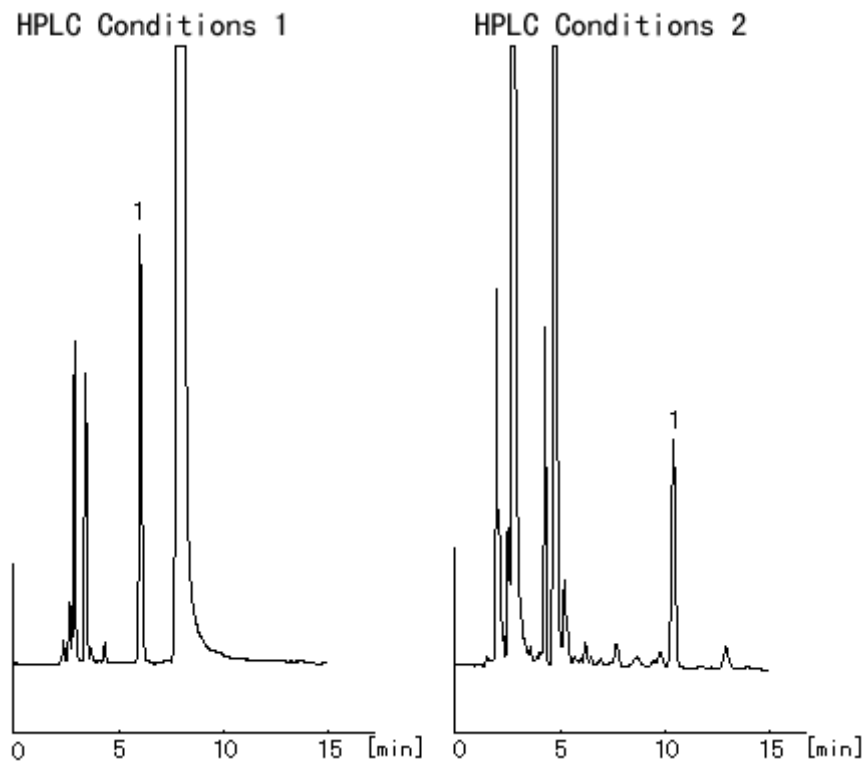


トラネキサム酸はカルボン酸を有するため、ODSカラムでのイオン抑制法あるいはカチオン交換で分析します。今回は、ODSカラムとカチオン交換カラムで同じサンプルを分析し比較しました。ODSカラムでは化粧品中の夾雑ピークとの分離のために、温度を45℃に設定しました。このように分析モードによりクロマトグラムのパターンが大きく異なることから、分析サンプルによりモードを使い分けることが可能です。トラネキサム酸配合化粧品を水で希釈、超音波分解し、ろ過したものを試料としました。



1	トラネキサム酸
	Tranexamic acid

HPLC Conditions 1

Column	CAPCELL PAK C ₁₈ UG120 S5 : 4.6 mm i.d. × 250 mm
Mobile phase	50mmol/L KH ₂ PO ₄ , 0.2vol% H ₃ PO ₄
Flow rate	1.0 mL/min
Temperature	45
Detect	UV 210 nm
Inj. vol.	10 μL

HPLC Conditions 2

Column	CAPCELL PAK SCX UG80 : 4.6 mm i.d. × 250 mm
Mobile phase	0.1mol/L KH ₂ PO ₄ , H ₂ O / CH ₃ CN = 80 / 20, pH4.0 (H ₃ PO ₄)

Flow rate	1.0 mL/min
Temperature	40
Detect	UV 210 nm
Inj. vol.	10 μ L